

紅葉真っ盛りの那須岳をハイキング！



十月の上旬、暖かさが残り、平地ではまだ紅葉が進んでいないものの、山の上は紅葉が見ごろという情報を聞き、那須岳へ行ってみました。

一番天気が良さそうな3連休の真ん中とあって、混雑は必須。そこで朝早く起き、日の出とともに山頂に着いたので、が、しかし・・・山頂は車で大混雑！ウワサでは聞いていましたが、ここまでとは思っていませんでした。私には動揺してしまいました。山頂の駐車場から登山しようと思っていましたが、泊まり込みの方ですでに満車。自分たちの甘さを思い知らされ、ハイキングを諦めかけましたが、頂上駐車場より少し下った場所に1台だけ空きのスペースを見つけなんとか置く事ができました。

ほっとしたと同時に、「こんなに人が集まるなんてどれだけ素晴らしい景色なのだろう。」と期待で胸が膨らみました。



前日までの雨は嘘のように雲一つない真っ青な空。その下には真っ赤に燃えるように染まった山。これ以上ない絶好の登山日和です。

ここ数年は子供達と筑波山や飯能の山など、たまにハイキングにチャレンジしてはいますが、普段運動不足の私は今回も登り始めてすぐに息が上がってしまいました。でも立ち止まってふと横を見るとキレイに紅葉した山々を眺めることが出来、素晴らしい光景に後押しされながらなんとか上へ上へと進んでいくことができました。

頂上近くには「峯の茶屋」という小屋があります。ひとまずそこを指すのですが、最後の十五分ぐらいは道幅も狭くなり、木々もほとんどない荒野を上っていく感じでした。とは言え、周りの山々は美しく、振り返れば那須の街並みを一望出来るため、どこを眺めても美しいそんな道のりでした。

峯の茶屋からは茶臼岳の周りを歩き、有名な紅葉スポット、「姥が平」を目指します。先ほどまでは登り一辺倒でしたが、ここからは割と平坦な道のり。硫黄が吹き出ている場所を間近でみながら楽しく歩くことができます。

そしてとうとう山の裏側にある紅葉スポットへ。

そこには花のように色とりどりに輝く木々の景色が広がっていました。太陽が当たるとより一層色鮮やかに輝いて見えます。どうしてもこんなに綺麗な色に染まるのか不思議なぐらいです。

のんびり紅葉と山の空気を楽しんでるうちに雲が少しできてしまいました。下りはロープウェイで降りる予定でしたが、乗り場に着くころには真っ白で何も見えない状態に。ロープウェイに乗っても周りは真っ白でした。

今回、真っ青な空と色鮮やかな紅葉を観れたのは早起きした甲斐があったということだと思います。最後に朝が苦手な私へ主人から「早起きは三文の徳でしょ」と言われ納得した今回のハイキングでした。



左：雲が出てきましたが、一面輝くような紅葉。

左：茶臼岳から出る白煙。一番噴き出しているところからは硫黄のにおいとジェット機のようなゴーという音が響いていました。

右：有名な姥が平・紅葉のピークは若干過ぎているようでしたがとても綺麗でした。